

U18日清食品トップリーグ2026 デイビジョン1（男子/ヘッドコーチ）						
チーム名	ヘッドコーチ名	①「U18日清食品トップリーグ2026」へ出場 できることへの感想	②チームとして「U18日清食品トップリーグ 2026」でアピールしたい、自分たちの「強み」 や「バスケスタイル」	③今年度のチームでエースとして期待したい選 手、カギを握る選手、とその理由	④長期リーグ戦を戦い抜くことで、チームとし て成長/収穫したいこと	⑤意識している対戦カードとその理由
仙台大学附属明成高等学校 （宮城県）	畠山 俊樹	全国トップレベルのチームと素晴らしい大会運 営の中、試合をさせて頂き感謝しております。 まだまだ、不甲斐ないチームですが、一生懸命 頑張ります。宜しくお願い致します。	高校生らしい直向きに一生懸命に頑張る。	選手全員	どのチームにも立ち向かっていく勇気と戦い続 けることができるチーム。	全チーム:私たちはまだまだここで戦えるレベ ルのチームではないので一戦一戦食らいついて いきたい。
帝京長岡高等学校 （新潟県）	五十嵐 平	男子のチームで「U18日清食品トップリーグ 2026入替戦」から唯一残留できたということ が嬉しい。今年も「U18日清食品トップリーグ」 の舞台で選手たちと戦える事にすごく楽しみ感 じているし、昨年度よりも良い成績を残したい。 そのために初戦の東山戦から最高のパフォー マンスを出していきたい。	ハードなディフェンスからのブレイク、そしてど こからでも点数を狙える攻撃。常に声を掛け合 い戦うチームバスケが今年の帝京長岡の強み です。	エースとして期待したい選手 藤田 珀:どんな状況でも冷静にチームの為にプ レーしてくれる。その中で3Pシュート以外にも ペイントなど、どこからでも得点することのでき る選手。 カギを握る選手 小笠原 立騎:誰よりも走って跳んで声を出す。 チームの心臓だと思っています。スタッツに残 らない泥臭いプレーを彼に期待しています。	勝負ところで勝ち切れる強さ。全国トップクラ スのチームと試合する事で、自分たちの強み、 自分たちらしさ、というところを試合を重ねる 中で見つけていきたい。	全チーム:今年は勝負所で勝つ帝京長岡を見せ たいからです。
北陸学院高等学校 （石川県）	濱屋 史篤	この期間に全国トップチームと試合ができるこ とが強化に繋がると考えています。	相手がやりたいバスケを封じる。戦術遂行。	エースとして期待したい選手 藤原 弘大:「FIBA U18アジアカップ」での経験 を活かしてチームを牽引してほしい。	相手を分析し、戦術遂行する文化。	福岡大学附属大濠:インターハイ王者に勝ちた い。
藤枝明誠高等学校 （静岡県）	金本 鷹	今回、2年ぶりの「U18日清食品トップリーグ」 参戦ですが、入替戦を勝ち抜いての出場に大き な価値を見出しています。だからこそ、一戦一 戦に目的を持って戦っていきます。	ディフェンスの強度を強化して、「負けない藤枝 明誠」を目指します。	高平 爽太:キャプテンとしてのマインド 福本 彩人:2年生ながらチームを鼓舞する 平岡 泰介:期待のルーキー	ディフェンスの強度を高め続けます。	全チーム:それぞれが高みを目指しているチー ムなので。
東山高等学校 （京都府）	大澤 徹也	トップチームと試合ができる事に感謝すること だけでなく、自信とプライドを持って戦い抜き たいです。	東山らしいオフェンスで主導権を握り、ハイペ スな点の取り合いをしたいです。	中村 颯斗、佐藤 久遠:昨年度から主力で試合 に出ていたので成長した姿を見せて勝たせる 選手になってほしい。	全てが良い経験になると思います。その中でも 優勝を狙いながらインターハイに出れなかった 悔しさと全国での経験値を上げていきたいで す。	全チームです。
鳥取城北高等学校 （鳥取県）	大阪 力	全国トップクラスのチームと対戦出来る貴重な 機会をありがとうございます。 一戦一戦全力で戦いたいです。	堅いディフェンスからの速い展開が特徴。	福元 源士	特定の選手だけでなく日替りのヒーローが出て くるような、層の厚さが出てくるようにしたい。	全チーム:様々な特徴を持つチームとの対戦で 更に成長していきたい。
福岡大学附属大濠高等学校 （福岡県）	片峯 聡太	チームの成長、強化を図る素晴らしい大会に出 場でき感謝しております。また発信力のある大 会だからこそ、バスケットボールを通じて、ス ポーツの魅力を存分に発揮できることを嬉しく 思っております。	強い「個」がチームとしての「繋がり」を持つチー ム。速さ、強さ、賢さを追求する。	エースとして期待したい選手 本田 路以、白谷 柱誠ジャック:彼らがセル フィッシュになりすぎず、チームの繋がりを作っ ていくことが大切。 カギを握る選手 ブタシュ ヴィンセント健太郎:ビッグマンの成長 がチームの更なる進化に繋がる ファデラ ママドゥ	負けなために、様々な戦い方を遂行できるよ うになりたい。	全試合、一つ一つ。
柳ヶ浦高等学校(大分県)	中村 誠	感謝と感激。 またと無いチャンス。 全力で頑張ります。	終了のブザーがなるまで全員で戦う姿勢。 今年のテーマである「超攻撃」。		ベンチメンバーの成長、次年度の出場権。	福岡大学附属大濠:1番意識して練習している から。

U18日清食品トップリーグ2026 ディビジョン1（男子/キャプテン）							
チーム名	キャプテン名	①「U18日清食品トップリーグ2026」へ出場できることへの感想	②チームとして「U18日清食品トップリーグ2026」でアピールしたい、自分たちの「強み」や「バスケスタイル」	③長期リーグ戦を戦い抜くうえで、コート上やコート外で徹底したい自分の役割	④「U18日清食品トップリーグ2026」ではどのようなことが楽しみか	⑤「U18日清食品トップリーグ2026」への目標・意気込み	⑥意識している対戦カードとその理由
仙台大学附属明成高等学校 (宮城県)	今野 瑛心	このようなリーグ戦に今年も出場できる事をとても嬉しく思います。福岡大学附属大濠と試合が出来るので自分たちのバスケをしっかり発揮して次に向けての課題などを見つけていきたいです。そして1戦1戦を仙台大学附属明成らしさを出して頑張りたいです。	日本一高校生らしいチームを目指してディフェンス、リバウンド、ルーズボールといった泥臭い部分を一生懸命に頑張り、個人ではなくチームとして戦い勝利を目指していくのが自分たちのバスケスタイルです。	自分は3年生としてプレーでチームを引っ張るのはもちろん、プレーだけでなくベンチでも1番に声を出したりチームの雰囲気が悪かったらすぐにみんなを集めて声掛けをしたりとキャプテンとしてチームを良い方向に持っていくのが役割だと思っています。	会場や演出などいつもとは違う雰囲気です試合ができるのはとても楽しみです。そして全国の強豪と試合が出来るので毎試合勝利を目指して全力で戦います。	今年は下級生が多く試合に絡んでいるので自分が3年生としてこのチームを引っ張り一つでも多くの勝利を重ねて後輩たちに来年の「U18日清食品トップリーグ ディビジョン1」の出場権を与えられるように頑張っていきたいです。	福岡大学附属大濠:今年のインターハイでも負けていて現在の日本一のチームでもあるので自分たちがインターハイからどれだけ成長したのか、そしてたくさんの課題も見つかと思うので福岡大学附属大濠との試合は自分たちを試す良い機会にしたいです。
帝京長岡高等学校 (新潟県)	春山 虹太	全国のトップレベルのチームと多くの試合ができるので良い経験ができるのと、自分たちの力を試すことができるのでとてもワクワクしています。	強度の高いプレッシャーとコミュニケーションのとれたディフェンスから速いオフェンスを展開する走るバスケという強みを活かしていきたいです。	ガードとしてプレーでチームを勝ちに導くことはもちろんですが、キャプテンとしてコート上でもコート外でも常に声を出し続けて、コミュニケーションをとりチームを鼓舞していきたいです。	インターハイに出場することができずにとっても悔しい思いをしました。そこから強度の高い練習に取り組んできました。インターハイに出れなかった分この「U18日清食品トップリーグ」でレベルの高いチームと自分たちの力ややってきたことを試すことができ、良い経験ができるのでとても楽しみです。	一戦必勝で勝ちにこだわっていききたいと思います。4位以上を目指したいです。	福岡大学附属大濠:インターハイで優勝しているチームなのでそのチームに自分たちのディフェンスからのバスケで勝ちたいです。
北陸学院高等学校 (石川県)	小笠原 和真	全国トップレベルのチームと対戦できる貴重な機会をいただけたことをとても嬉しく思います。自分たちの力がどこまで通用するのか挑戦するとともに、チーム一丸となって勝利を目指し、一戦一戦全力で戦います。	ディフェンスからファストブレイクです。	チームが苦しい時にコート内外で支え、チームを勝たせることです。	全国の強豪チームと試合ができることが一番楽しみです。普段対戦できない相手との試合を通して多くのことを学び、自分自身もチームもさらに成長できるよう挑戦したいです。また、自分たちのバスケを全国の舞台で発揮し、バスケを楽しみます。	優勝します。	福岡大学附属大濠:チームとして日本一を取るために避けては通れないチームです。恐れず自分たちのプレイをし、成長できるように、勝てるように頑張ります。
藤枝明誠高等学校 (静岡県)	高平 爽太	全国屈指の強豪チームと対戦できること、そして素晴らしい環境の中で試合ができることを大変嬉しく思います。	アグレッシブなチームディフェンスを武器に相手を守り、ディフェンスから走ることが強みです。	キャプテンとして、どんな状況でもチームが同じ方向を向いて戦えるよう、コート上では声とプレーで仲間を鼓舞し、コート外では日々の生活や準備から責任ある行動を徹底し、長期リーグを戦い抜けるチームをつくります。	全国屈指の強豪チームとの対戦を通して、自分たちの実力がどこまで通用するのか挑戦できることを、楽しみにしています。	まずは素晴らしい環境の中で試合ができることに感謝し、優勝目指して一戦一戦チーム全員で戦います。	北陸学院:去年のインターハイのリベンジ。
東山高等学校 (京都府)	鈴木 勇功	今年も出場できることに感謝の気持ちをもって、優勝目指して攻撃的なバスケで戦い、全国で優勝するためにチーム力を伸ばすとてもいい機会にしたいです。	取られても取り返すマインドで超攻撃的なバスケを展開したいです。	トーナメントと違って、負けても試合が続きますが、勝っている時こそ気を抜かないようにチームの士気を高めていきたいです。	全国の強豪と戦って、自分たちの力を試せることが楽しみです。	全勝で優勝することを目指して頑張ります。	福岡大学附属大濠:去年のウインターカップでも負けているので絶対に勝ちたいです。
鳥取城北高等学校 (鳥取県)	福元 源士	とても嬉しいし、貴重な経験ができるので毎試合大切にしたい。毎試合難しいゲームになると思うが、チームとして成長できると思うので、とても楽しみ。	自分たちの強みは堅守速攻なので、ディフェンスから速攻を増やしていきたい。見ている人も楽しめるようなバスケをしたいと思います。	キャプテンとしてチームのやる気を出させたり、常に声を出してチームを鼓舞することを徹底していきたい。	大きい会場でやることや、プロのような演出など素晴らしい経験が出来るのが楽しみ。	去年の先輩が残してくれた貴重な経験をできる場所なので全力でプレーしていきたい。そして来年も後輩に「U18日清食品トップリーグ ディビジョン1」という場所でプレーしてほしいので4位以上を目指す。	福岡大学附属大濠:まだ自分が鳥取城北に入っで勝ったことがないから。
福岡大学附属大濠高等学校 (福岡県)	永善 元希	「U18日清食品トップリーグ」が始まってから毎年出ている大会なので今年も出場することができ嬉しく思っています。	自分たちの強みは個の力だと思います。	コート上ではチームのために何ができるかを考え行動する。コート外では常に声を出し続けチームの士気を落とさないようにする。	たくさんのチームと試合ができるということは、なかなか経験することができないですし、強豪チームと試合ができることが楽しみです。	全勝して優勝すること。	北陸学院:チームのバランスがよく、勢いに乗ると止めることが難しいチームだと思うから。
柳ヶ浦高等学校(大分県)	古閑 蓮	全国で8つのチームしか参加できないので全力で楽しむ。	トランジションオフェンスや留学生との連携プレー。	コート上ではチームへの声掛けや球際の部分だったりハードワークすること。コート外ではその試合の反省点、良かった点、改善すべきことを話して次の試合に活かすこと。	たんさんの強豪チームと対戦できることや演出、コート、モップヌードルなど。	全試合100点とること。4位以上になって来年の「U18日清食品トップリーグ ディビジョン1」へのお出場権を手に入れること。	福岡大学附属大濠:このチームに勝てばチームとしても勢いに乗るし、今後にも繋げることができるから。

U18日清食品トップリーグ2026 ディビジョン1（女子/ヘッドコーチ）						
チーム名	ヘッドコーチ名	①「U18日清食品トップリーグ2026」へ出場できることへの感想	②チームとして「U18日清食品トップリーグ2026」でアピールしたい、自分たちの「強み」や「バスケスタイル」	③今年度のチームでエースとして期待したい選手、カギを握る選手、とその理由	④長期リーグ戦を戦い抜くことで、チームとして成長/収穫したいこと	⑤意識している対戦カードとその理由
福井工業大学附属福井高等学校（福井県）	林 慎一郎	初出場が決まり、大変光栄に思うと同時に身の引き締まる思いです。 全国のトップレベルを誇る強豪チームと真剣勝負で力くらべができるこの機会を楽しみにしています。挑戦者として一戦一戦に全力を尽くし、自分たちのバスケットボールがどこまで通じるか挑んでいきます。	粘り強いディフェンス。早いトランジションオフェンス。	小池 昌鈴:試合展開が苦しい時間帯や接戦の場面でチームを落ち着かせ、声とプレーで鼓舞できる存在です。	「全国の強豪相手に勝ち切る力」、そして「タフな戦いを勝ち抜くための選手層の厚み」です。連戦の中でチーム全員がコートに立ち、それぞれの役割を果たして経験を積むことで、誰が出ても高いパフォーマンスを発揮できるチームへと成長していきたいです。	桜花学園:昨年のウインターカップ、今年のインターハイで敗北しているから。
岐阜女子高等学校（岐阜県）	安江 満夫	「U18日清食品トップリーグ」は、日清食品様、安藤財団様をはじめ、たくさんの方々のご支援やJBAの方々のご尽力のおかげであり、このような素晴らしい大会に出場できることに感謝しかありません。おかげさまで今年で5年連続5回目の出場をさせていただきました。これも自分たちの力だけでなく、たくさんの方が応援してくださったおかげです。これまでの卒業生が残してきたものに、また新たなものを積み重ねていけるように挑んでいきたいと思います。	自分たちは粘り強いディフェンスを強化しています。まだまだ高いレベルには到達していませんが、コツコツと積み重ねて力を高めていきたいと思います。	神谷 和:まだまだ力不足のところもありますが、これからの可能性も含めて期待しています。アグレッシブに挑戦してくれることと思います。	1つ目は選手層を厚くすることです。結果を出していく選手にはチャンスを与えます。そのチャンスをつ掴み、スタートメンバーに劣りを見せないような選手を育成していきたいです。 2つ目は素晴らしい環境の中で試合をさせていただけるので、感謝はもちろん、その感謝を経験で力に変えていきたいです。1年生も多いので場慣れしていき、今後につなげていきたいです。	特にありません。高いレベルのチームばかりなので、全チームに対して、一戦一戦大事にトライしていきたいです。
桜花学園高等学校（愛知県）	白 慶花	今年も素晴らしい大会に出場できることを大変嬉しく思います。大会を熱く盛り上げられるよう頑張ります。	伝統である堅守速攻を武器にし、攻撃的なディフェンスからスピード感溢れるオフェンスで勝機を掴む。	●エース:勝部 璃子、竹内みや:エースとして厳しいチェックに合う中でも攻守においてチームを牽引できるプレーを期待している、彼女たちの活躍なしでは桜花学園の勝利は語れない。 ●期待したい選手:小玉 愛莉、國武 珂憐、加地 百花:彼女たちの得点力とディフェンスはチームの勝敗を左右する、夏の悔しさをどれだけ「U18日清食品トップリーグ」でぶつけられるか3人の更なる成長に期待している。 ●カギを握る選手:クースイク アナヒタ、インサイドの攻防でどれだけ身体を張って戦うことができるか、彼女の成長が桜花のインサイドの厚さに繋がると思う。	高さあるインサイドに対しての攻防、ゲーム中の対応力を培うこと、下級生筆頭に新戦力の台頭。	全チーム:各チームそれぞれ強みが異なるので最高の準備をして臨みたい、そして必ず勝つ。
四日市メリノール学院高等学校（三重県）	稲垣 愛	素晴らしい大会へ参加できることに感謝しています。	組織的なディフェンスからブレイクで止まらないバスケットを展開したい。	刀根 綺萌:前十字靱帯断裂から復帰したエース。	レベルの高い相手と戦い合えることで、自分たちの課題を浮き彫りにし、回収しながら成長していきたい。	精華女子:アイシャ選手に対してどう戦えるか。
京都精華学園高等学校（京都府）	山本 綱義	今年も素晴らしい環境のこの大会に出場させていただけることに感謝し、高いレベルでのバスケを学び、また成長させていただきたいと思います。	京都精華学園らしい、泥臭く粘り強いバスケでスピードと高さでチーム全員で戦います。	少しずつ成長してきた満生 小珀、高山 留里那、石井 日菜の小さいサイズが、スピードと堅守でチームを率いる中で、ビッグサイズの留学生たちとのバランスを楽しみにしている。誰が出ても力が変わらないのも今年の強みである。	長期戦では、チームの精神力との戦いにもなってくるので、選手たちがその中でも強い気持ちを持ち続けながら、結束力をより強くしていきたい。	どのチームに対しても、京都精華学園らしい戦い方ができるように全力で挑みたい。
大阪薫英女学院高等学校（大阪府）	大畑 りり	全国の強豪チームと戦える貴重な機会をいただけることを嬉しく思います。一戦一戦を大切にし、自分たちの持ち味である激しいディフェンスと粘り強いプレーで多くの方に応援していただけるチームを目指します。	激しいディフェンスからのアップテンポなオフェンスで得点をとる。	エースとして期待したい選手 松本 璃音 鍵を握る選手 大槻 佳子:流れを変えるスリーポイントとディフェンス。	普段戦えない強豪チームとの試合を通して、課題を明確にするとともに、一試合ごとに成長し、全国で戦い抜く力を身につけたいです。	京都精華学園:近畿大会、インターハイのリベンジ。
精華女子高等学校（福岡県）	大上 晴司	全国の素晴らしいチームと試合をさせていただく機会を与えていただき感謝しかありません。	粘り強い守り。	エースとして期待したい選手 後藤 帆乃果:シューターとしての自覚と責任でチームを勝たせる選手に成長してほしい。 カギを握る選手 フバ アイシャ エジネ:彼女の相手に対するアジャスト力がカギ。	いかにタイムシェアしながら戦えるチームに成長できるか。	全チーム:今回インターハイに出場することができなかったので全ての試合を意識しています。
東海大学付属福岡高等学校（福岡県）	宮崎 優介	最高峰の舞台である「U18日清食品トップリーグ2026」に挑戦できることを、大変光栄に思います。	球際の強さとルーズボール等、40分間を通して運動量を落とさず、泥臭くボールに食らいつく姿勢が徹底されています。	今年度のチームは豊田 麻莉、工藤 結心を軸に安定したゲームを展開しております。アジャ(ニエ カディジャファール)がボールを持つことによって起動力が増す時間帯もポイントです。	インターハイの準決勝、決勝では起用できる選手が限られていたので、インターハイと違う選手層を目指していきたい。	素晴らしいチームとの一戦一戦がチームの成長へと繋がると確信していますので、ベストを尽くしてまいります。

U18日清食品トップリーグ2026 ディビジョン1（女子/キャプテン）							
チーム名	キャプテン名	①「U18日清食品トップリーグ2026」へ出場できることへの感想	②チームとして「U18日清食品トップリーグ2026」でアピールしたい、自分たちの「強み」や「バスケスタイル」	③長期リーグ戦を戦い抜くうえで、コート上やコート外で徹底したい自分の役割	④「U18日清食品トップリーグ2026」ではどのようなことが楽しみか	⑤「U18日清食品トップリーグ2026」への目標・意気込み	⑥意識している対戦カードとその理由
福井工業大学附属福井高等学校（福井県）	小池 昌鈴	ずっと夢だった舞台だからすごく楽しみ。	走って走って速い展開の流れるバスケットが自分たちの強みでありバスケスタイル。	毎試合点をとれるように毎日の準備を怠らず自分を絶好調に持っていき、チームには鼓舞して士気をあげていきたい。	自分たちのバスケスタイルで戦えることがわかったので、40分間走り続けてどこもついてこられないバスケットができるかが楽しみ。	毎試合ハードな戦いですが、自分たちのバスケスタイルは崩さず必ず全勝優勝したいです。	桜花学園：去年のウインターカップそして今年のインターハイで負けているから次は三度目の正直ということで必ず勝ちたい。
岐阜女子高等学校（岐阜県）	坂口 みなみ	今年も出場させてもらえて本当に感謝しかないです。こうやって全国のチームと試合をさせていただけるので自分たちの最大限の力を出して戦ってみたいです。	ディフェンスからブレイクで岐阜女子の流れを作るところです。	いつもいい流れが続くわけではないので流れが悪くなってしまった時こそ自分が1番に声を出したり、自分の得意である3Pシュートでチームの流れを作りたいです。 また、岐阜女子はディフェンスが武器なのでいつでも粘り強いディフェンスを徹底していきたいです。	全国トップクラスのチームと対戦させていただくので自分たちのプレーがどこまで通用するのか挑戦していくのが楽しみです。	どんな時でも岐阜女子らしいバスケットをし、いつも支えてくださる方へ恩返しできるよう全力で戦い必ず優勝します。	大阪薫英女学院：インターハイ3回戦で試合をし、負けてしまったチームなのでこの悔しさをバネに次は必ず勝ちたいからです。
桜花学園高等学校（愛知県）	勝部 璃子	トップレベルのチームと戦うことができ、とても楽しみな気持ちでいっぱいです。	粘り強いディフェンスからブレイクで得点する。	チームに対してどんなときも声をかけ続け、一人ひとりが思いっきりプレーできるチームをつくりたいです。	素晴らしい会場や普段とは違った音響がある中でプレーできること。 トップレベルのチームと戦えること。	優勝。長期戦となる中で、チームとしてひとつずつ成長していきたいです。	東海大学付属福岡：全関西、インターハイと負けているので、リベンジを果たしたい。
四日市メリノール学院高等学校（三重県）	中嶋 とわ	初めて「U18日清食品トップリーグ」に出場できること、そして新たな舞台で挑戦できることを嬉しく思います。この大会を通して、チームとしても個人としても成長できるように、1試合1試合全力で戦いたいです。	早い展開でのトランジションオフェンスやアグレッシブなディフェンスに注目して欲しいです。また最後まで諦めない粘り強さがメリノールの強みです。	ガードとしてゲームコントロールをし、コート内外で常に前向きな声掛けをして、チームを鼓舞し続けていきたいです。	沢山の強豪チームと対戦させていただく中で、自分たちの実力がどこまで通用するのかを試せることが楽しみです。	自分たちで掴み取った「U18日清食品トップリーグ」の舞台だからこそ、誰よりも強い気持ちも持って挑みたいです。どのチームにも負けないうエナジーとチーム力で優勝目指して頑張ります！	全チーム：どのチームも強豪チームなので、全ての対戦を意識しています。 京都精華学園：中学校の頃から一度も勝ていない相手であり、インターハイも優勝したことで強く意識しています。
京都精華学園高等学校（京都府）	吉田 ひかり	日本最高峰のリーグでバスケットができることを本当に嬉しく思っています。また、毎試合特徴の違うチームと戦うことで、自分たちの課題を見つけたり、逆に上手くいったところは自信につながりできるので、最高の環境だと思います。	強みはセンター陣の高身長を活かせることと、ディフェンス、ルーズボール、リバウンドをどんな時も徹底し続けられ、粘り強いディフェンスができることです。バスケスタイルはフリーランスなので、型にはまらないバスケットが展開できると思います！	キャプテンとして、チームが同じ方向に向けるような声かけをします。コート内では、怪我をしていたので復帰戦が「U18日清食品トップリーグ」になりますが、PGなので、武器であるスピードと3Pシュートを活かしてチームに貢献できるようにしたいです。	他の大会とは雰囲気の違い、プロのような環境でできるのでそれが楽しみです。また日本各地を回り、その場所がバスケットボールで盛り上がるのもいいと思います！	全国の強豪チームと戦えること、この環境でプレーさせてもらえることに感謝し、その気持ちをコート上で表現できるように、泥臭く、高校生らしく戦い抜きます！	福井工業大学附属福井：まだ一回も戦ったことのない相手なので、個人的にも楽しみです、すごく走ってくるチームなので、自分たちの守りがどのくらい通用するか試せる機会だと思っています。 精華女子：今年度はまだ勝てていないので、最終戦で倒せるように準備したいと思っています。
大阪薫英女学院高等学校（大阪府）	松本 璃音	昨年は出場することが出来ず、悔しい思いをしました。今年はその悔しさを力に変えて、一戦一戦大阪薫英女学院らしいバスケットで自分達の成長に繋げられるようにしていきたいです。	激しいディフェンスからのアップテンポなオフェンスで得点をとる。	コートの中でも外でも常に声を出し、苦しい時こそコートの上に立ち、ディフェンスや3Pシュートでチームに流れをつくる。	「U18日清食品トップリーグ」ならではの雰囲気と演出の中で、普段戦えない強豪チームと戦えることです。	「全員バスケット」で全勝、優勝。	京都精華学園：近畿大会、インターハイのリベンジ
精華女子高等学校（福岡県）	谷山 憩	全国トップレベルの選手たちとリーグ戦という形でゲームができるこの機会を、チーム目標を達成するためのいいキャリアにしていきたいです。	ディフェンス、チームエネルギー。	自分が持つる最大限のエネルギーを常にチームに与え続ける。	ハイレベルなゲーム。	全勝、優勝。	京都精華学園：どのチームとの対戦も意識しているが、インターハイで日本一になったチームに勝つ事は自分達の大きな自信になるから
東海大学付属福岡高等学校（福岡県）	内田 弓愛	昨年は出場できなかった「U18日清食品トップリーグ」に今年出場できることをとても嬉しく思います。全国の強豪と戦える貴重な機会を大切に、全力で頑張ります。	粘り強いディフェンスと球際の強さを武器に全員がバランス良く得点できるオフェンス。	キャプテンとして、苦しい時でも常に声を出し続けチームを引っ張り最後まで体を張り続けます。3Pシュートやリバウンドで積極的に得点に絡み、自分のプレーでチームに勢いを与え、コート内外で支えたいです。	全国の強豪と高いレベルで戦えること、素晴らしい環境の中でバスケットができることが楽しみです。	昨年出場できなかった悔しさを力に変えて、この舞台でリベンジし、優勝を目指します。	京都精華学園：インターハイ決勝で敗れた悔しさを「U18日清食品トップリーグ」でリベンジします。